

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 30 年 12 月 28 日

設置・運営主体	戸田市		
設置主体	戸田市		
経営主体	戸田市		
事業所名 (施設名)	戸田市立新曾南保育園	種別	保育所
所在地	〒 335-0026 埼玉県戸田市新曾南2-15-38		
電 話	048-444-7717		
FAX	048-443-6883		
Email			
URL	https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/252/hoikuen-hoikuen-list.html		
施設長氏名	宮澤 克子		
調査対応担当者	宮澤 克子 (所属、職名：園長)		
利用定員	106 名	開設年	昭和 54 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>【保育理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私達は、子ども達が安全で安心して過ごすことができる環境を整え、心身ともに健康な子どもを育てる <p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携を取りながら、丈夫な体と元気に遊べる子どもに育てる ・思いやりがあり、友達などを大切にし、やさしい心豊かな子どもに育てる ・個性を大切にし、自分を表現できる子どもに育てる ・最後までやり遂げる力を持つ子どもに育てる ・地域の子育て支援の拠点となる保育園づくりをする <p>【園目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き生き遊べる子ども 			
開所時間 (通所施設のみ)	平日 : 7時00分～19時00分 土曜日 : 7時30分～18時30分		

【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	名	名	名	名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
名	名	名	名	名	名
					合 計
					名

○老人福祉サービスの場合

60歳未満	60～65歳未満	65～70歳未満	70～75歳未満	75～80歳未満	80～85歳未満
名	名	名	名	名	名
85～90歳未満	90～95歳未満	95歳以上	合 計		
名	名	名	名		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	6	1		2
1歳児	12	12	1		3
2歳児	18	18	1		3
3歳児	22	22	1		2
4歳児	24	23	1		1
5歳児	24	24	1		1
計	106	105	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○保育所の場合

常勤職員数		12 人	
うち	保育士	12 人	保健師・看護師 人
	栄養士・調理員	人	その他 () 人
非常勤職員数		5 人 (常勤換算	4.1 人)
うち	保育士	3 人 (常勤換算	2.61 人)
	保健師・看護師	1 人 (常勤換算	0.97 人)
	栄養士・調理員	人 (常勤換算	人)
	その他 (子育て支援員)	1 人 (常勤換算	0.52 人)
<p>(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 2 人	非常勤： 1 人
	退職	常勤： 2 人	非常勤： 1 人
(3) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均年齢		41.9 歳	41.9 歳)
(4) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均在職年数		2.6 年 (2.6 年)
<p>(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。</p>			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所を除く)

(例) 救護施設における通所事業 (定員 5 名)

--

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	-
延長保育	○	月極1時間¥2500、2時間¥4000 日割り1時間¥250、2時間¥400
休日保育		
障害児保育	○	-
一時保育		
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	-
その他(事業名:)		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 30 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

28 人

・ボランティアの業務

読み聞かせ・中学生の職場体験

【実習生の受け入れ】

・平成 30 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 7 人 (保育士)

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積	m ²	
	入所(通所)者1人あたり	m ² (延べ床面積÷定員)
(2) 居室数 (入所施設の場合)	個室	室
	2人部屋	室
	3人部屋	室
	4人部屋	室
	5人以上の部屋	室
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input type="checkbox"/> 1. は <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
	耐震 <input type="checkbox"/> 1. は <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
(4) 建築(含大改築)年	平成	年
(5) 主な設備		

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	621.77 m ²	
	児童1人あたり	5.86 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	1,273 m ²	
	児童1人あたり	12 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. は <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. は <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
(4) 建築(含大改築)年	昭和	54年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ◎提供しているサービス「乳児保育」「延長保育」「特別支援保育」「アレルギー対応給食」等につきましては、クラス懇談会、個人面談、個々の連絡ノート、保護者会総会、保護者会役員会等で利用者からの意見や要望等を聞かせていただき、改善する必要がある場合は職員会議等で検討しております。
- ◎地域に向けてのサービス「地域交流」については「地域交流」終了後、毎回簡単なアンケートを参加者にお渡し、感想や今後取り組んで欲しい事等を聞かせていただき、次年度の地域交流計画を立てる際に、反映しております。また「夏まつり」では来ていただいた地域の方や、お手伝いをしてくださる保護者の方から直接感想やご意見を伺い、それをもとに職員会議等で話し合い、次年度に活かしております。
- ◎保育園正面玄関QRコード読み取り機付近に意見箱を設置し、保護者の方がお気づきになったことや保育園に伝えたいこと等を、気軽に書いて投函していただけるようにしてあります。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ①保育士体験の推進
 - ・保育園における保育士体験の目的を「保育園との関わりやこどもに対する相互理解を深める」「保育園と保護者の信頼関係を深める」「保育に関わることで集団の中での我が子を客観的にみる」「体験を通して子育ての楽しさを知る」とし、毎年5月から2月の期間行っています。お父さん先生、お母さん先生としてクラスに来てくれることがとても嬉しい子どもたちです。保育参加者された方から、温かい感想や保育士に対してのねぎらいのお言葉もいただき、保護者と保育園が相互理解を深め信頼関係を築ける機会とも感じました。新曽南保育園は保護者からの苦情はすくなく、保育園へのご理解ご協力が大きい保育園だと思います。
- ②異年齢交流（家族グループ）
 - ・毎年5月頃から3歳児（こども）4歳児（お兄さん・お姉さん）5歳児（お父さん・お母さん）の幼児クラスでは、5～6名の家族グループを作り、会食をしたり、リズム遊びをしたり、また運動会では家族グループで競技を行ったりしています。5歳児は、3歳児のお世話をしたり、4歳児の子は5歳児がすることを真似て3歳児のお世話をしようとしています。また、乳児クラスでも0歳児から2歳児まで一緒にリズム遊びをしたり、給食を食べたりする中で、2歳児が食後のエプロン等の片づけをする姿を1歳児が真似をしています。幼児クラスも乳児クラスも、職員の連携がうまくいっているからこそできる異年齢交流ではないかと感じます。
- ③4つの委員会（保育内容委員会・保育環境委員会・健康委員会・防犯防災委員会・ISO）
 - ・現在4つの委員会を主任保育士2人が2つずつ受け持ち、定期的に委員会を開催し運営しています。『保育内容委員会』では、保育ボードに掲示する写真の掲示方法の検討や、お店屋さんごっこや廃材を用いた製作遊びの取り組み方の検討等、『保育環境委員』では倉庫、教材室、絵本棚の整理を行い、様々な場所に入れてある物のリストを作成し、物の置き場所がすぐわかるようにしました。また職員に危険と思われる場所のアンケートを取り、必要に応じて修繕を行う等、安心安全な保育園運営を行っています。『健康委員会』ではエプロンシアターを使い虫歯予防集会で歯ミガキの大切さを伝え、早寝早起き集会では、早寝早起きの木を作り、早寝早起きができたら木に自分の顔が貼れる等、手洗いうがい集会では手洗いチェッカーを使い、汚れをきれいに落とせているか等を確認しています。『防犯防災委員会』では、毎月行われる避難訓練に様々な内容を取り入れ、万が一の時も慌てずに避難できるよう訓練を行っています。また、防犯面においても、蕨警察生活安全課の職員を招いて防犯訓練を行ったり、埼玉県警から防犯ひまわりの職員を招いて防犯に関するお話を聞いたりして、防犯強化に努めました。『ISO』担当からは、保育環境委員会と一緒に環境に関する取り組みを行い、毎月給食の残飯量が少ないクラスにパクパクもりもり賞を渡し表彰したり、ごみ分別をクイズ形式で行い子ども達に資源の大切さを伝えています。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

1 回 （平成 19 年度）